

石川県成人病予防センターの新型コロナ対策

2022.5.1

1 検診前の問診の実施

- 検診においては問診票を配布し、下記に該当する場合は受診を遠慮頂く
 - 1. 新型コロナウイルスに感染した後、厚生労働省の定める退院基準・宿泊療養及び自宅療養等の解除基準を満たしていない、また、その後の検温などご自身による健康状態の確認等を行う期間が終了していない
 - 2. 現在または1週間以内に風邪症状(発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、頭痛)や関節・筋肉痛、下痢、嘔気、嘔吐、味覚障害、嘔嗅覚障害があった
 - 3. 2週間以内に新型コロナウイルス感染者と濃厚接触した
 - 4. 2週間以内に海外に渡航した
- ※ 上記問診内容は、状況により変わることがあります

2 3つの密を避ける「密閉・密集・密接」対策

① 密閉対策

- 検診会場の換気を充分に行う
- 検診車内(移動中も含む)は換気を行い、検診車に入る受診者数を減らす

	対策前	対策後
胃がん検診車	撮影者1人・待合室3人	→ 撮影者1人・待合室1人
胸部検診車	撮影者1人・待合室2人	→ 撮影者1人・待合室1人
マンモ検診車(1基搭載)	撮影者1人・待合室2人	→ 撮影者1人・待合室1人
マンモ検診車(2基搭載)		撮影者2人・待合室2人
子宮検診車	診察台2人・待合室3人	→ 診察台2人・待合室1人

② 密集対策

- 検診時の待合については、基本的に1メートル間隔で並んでいただく
- 受診者間の会話は、極力控えていただく

③ 密接対策

- 検診スタッフは不織布マスクの着用をする
- 検診スタッフは、検診時に適宜、手洗い又はアルコール消毒を行う

3 検診器具の消毒

- 視力計、聴力計、身長計、体重計など検診器具の消毒を受診者ごとに行う
- 検診車の消毒を受診者ごとに行う

胃がん検診車	検診台の手すりと顔が触れる部分
胸部検診車	撮影装置の手すりとおごが触れる部分
マンモ検診車	撮影装置で体が触れる部分
子宮頸がん検診車	診察台を除菌剤でふくこと、診察台のロールシーツの取り替え

4 スタッフの健康管理

- 発熱(37.5℃以上)、風邪等の体調不良の症状がある場合には、センターに出勤しない(毎朝検温し、体温を記録する)
- 施設内の定期的な換気
- 家族以外との外食の自粛

5 検診スタッフの対応

- 新型コロナウイルス問診スタッフはフェイスシールド(口元まであるもの)、不織布マスクの着用
上記以外のスタッフはフェイスシールドまたはゴーグル、眼鏡と不織布マスクの着用とする
- ゴム手袋を着用し、適宜消毒をする
- スタッフ間の会話は、極力控える